

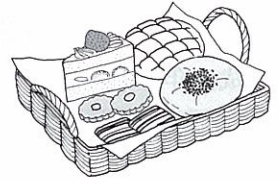
⑧

# ハーティちゃんの地元自慢コラム

IMOTO

IMAN

COLUMN



## VOL.2 スイーツ&ベーカリー編⑤

ルポライターのハーティちゃんが地元の誇れる個人・法人の方を訪ね、皆様に紹介するコーナー第2弾は、今話題の“スイーツ&ベーカリー編”です！

### パイの店・芦屋 カロル

代表者 河崎 章氏  
芦屋市大原町11-7  
開業年：1974年



JR芦屋北口から歩いて3分、ラポルテ北館とみなと銀行の間の道を北に少し歩いた右手にあるパイの店・芦屋 カロルでオーナーシェフの河崎章氏にお話をお伺いしました。河崎シェフは、製菓専門学校を卒業後、東京の有名製菓店にて修行をされ、神戸でドイツ菓子を学ばれた後、38年前にパイの店・芦屋 カロルでパイ専門店として独立をされました。お店のショーケースにはアップルパイ、鯛パイやアーモンドパイが所狭しと並べられており、ケーキなどの生洋菓子が無いのもパイへのこだわりが感じられました。

お店の1番人気のアップルパイは、昔ながらで製造したバターを使って140層にも丹念に折りあげた生地に、国産の紅玉りんごを敷き詰めた手作りパイで、シェフいわく自然の力でコントロールしているから上品で程よい甘さのパイに仕上がっているのだとのことでした。そして何よりも驚いたのがお腹いっぱいアップルの入った鯛パイです。何でもヨーロッパでは、ヒラメがモチーフだったのが日本人向けに神戸でめでたい鯛で型取ったアップルパイが作られたのが始まりとか。アップルパイだけでなくクリームパイでもオーダーを受けているとのことでした。

お店の入口脇のショーウィンドには東京スカイツリーの飾り菓子も置かれており、お伺いした日も新しく帆船の飾り菓子の作成をされており、お菓子で商売をすることだけでなく、お菓子作りに対する熱き思いを感じさせられました。



### 安政堂菓舗

代表者 中西 政雄氏  
東灘区御影本町4-12-28  
開業年：安政元年(1854年)



創業安政元年(1854年)という歴史ある安政堂菓舗の御影旨水館にある御影店で、6代目の中西政秀氏にお話を伺いました。

安政堂菓舗は、江戸時代「梅は岡本、桜は吉野、みかん紀の国、栗丹波」と唄われるくらい有名であった岡本の梅林の近くで梅の花見に訪れる人にうぐいす餅を販売したことに始まり、御影旨水館には55年前に出店されました。

御影店では、阪神御影駅前にある霊泉「沢の井」から湧き出す宮水と天日干したもち米の粉を使った沢の井餅を考案し、「沢の井」の水が使えなくなった現在でも当時と変わらぬ味で提供しているとのこと。また、4代目が60年前に考案したずっしりと重い和風ロールケーキは、今流行りのロールケーキとは一線を画す昔懐かしいみかんジャムの素朴な味が常連のお客様に受けています。少しでもみかんジャムの味が変わるとご指摘を受けるとのこと、その味へのこだわりを強く感じました。

お店には創業当時から使われている大きな薪かまどがあり、生涯現役にこだわる5代目中西政雄氏の身体で覚えた火加減一つで炊きあげられる素朴な味と控え目な甘さの「あん」は誰にも真似ができないとお話いただきました。大きな薪かまどのおかげで、震災直後のガスが使えない状況の中で甘い和菓子を提供できたことは、地元の方だけでなく代行バスに乗り継ぐ阪神御影駅を利用されていた方々にも、感謝されたと話される言葉には、薪かまどを使い続けていることに伝統と誇りを感じさせられました。

